

令和7年度 市長との対話集会（今富地区）議事要旨

日 時：令和7年8月28日（木）19時30分～21時00分

場 所：今富コミュニティセンター

参加者：49名

テーマ：新幹線と共に歩む小浜市の将来像

1 参加者からの主な意見

(1) 新幹線開業への期待と懸念

- ・関西圏のベッドタウン化、人口増加と企業誘致を推進。
- ・寺社仏閣巡りやインバウンド観光の強化。
- ・新駅建設による農地の減少や地下水への影響など、既存資源との融合を考慮。

(2) 地域資源の活用と魅力発信

- ・美味しい魚のアピール、観光地の整備（町並み美化、交通・駐車場整備）、住民参加型祭りの活性化。
- ・農業・漁業体験、キャンプ・グランピング施設など、体験型観光の充実。

(3) 「人」を中心としたまちづくり

- ・マンパワーを魅力とし、女性や子供たちを元気にすることが、まちの活性化に繋がる。
- ・Uターン・Iターン促進策の強化、高齢者も楽しめるスポーツ交流の推進。

(4) その他

- ・住民の生活に直結する身近な施設整備の優先。
- ・外部からの投資・支援の必要性、住民自身が新幹線を活用し外から活力を得る機会の創出。

2 市長からの主な回答

(1) 新幹線とまちづくり

- ・開業前後のまちづくりを同時に進め、子どもたちが帰ってきたくなるまちを目指す。
- ・企業誘致の重点エリア（賑わい、資源活用、医療関連、先端産業など）の方針に基づき推進。

(2) 地域資源の保護と活用

- ・新幹線建設への懸念を理解し、農地や地下水など小浜の「受け継がれてきたもの」を守りつつ、アイデンティティを持てるまちづくりを進める。
- ・小浜の食は大きな武器であり、旬の食材を活かした集客の強化が必要。観光地の整備はブランド価値を高める視点で行う。

(3) 「人」を中心とした活性化

- ・女性が元気な地域に人が集まっているケースもあるため、女性をターゲットとしたまちづくりや、若い世代が活躍できるまちづくりを推進。
- ・スポーツ合宿の誘致や企業訪問を通じた交流人口増加、Uターン・Iターン促進策（補助金等）の情報発信を強化。
- ・体験型観光の重要性を認識し、高校生などが農業・漁業に携わる機会を検討。